

## 公益財団法人みちのく未来基金

### 第5期（平成27年10月～平成28年9月）事業計画書

#### 1. 事業計画の概要

奨学金の給付および奨学生の交流の促進

東日本大震災において両親もしくは片親を亡くした遺児・孤児のうち、大学、短期大学、各種専修学校に進学する生徒を対象に奨学金を給付するとともに、遺児同士のコミュニケーションの促進を図り、心のケアにつなげることを目指します。

#### 2. 第5期における事業実施計画

##### ①奨学金給付者数

第4期給付対象人数および第4期における給付申請状況は以下の通り。

##### ◆第4期給付対象者数（単位：人）

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	328	125	174	18	11
国公立大学	52	33	15	2	2
私立大学	184	57	108	11	8
短大・専門学校	92	35	51	5	1

【内訳】

		合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以
合計	1期生	49	22	23	3	1
	2期生	82	28	48	4	2
	3期生	95	43	39	9	4
	4期生	102	32	64	2	4
国公立大学	1期生	11	6	3	1	1
	2期生	16	10	6	0	0
	3期生	19	14	4	1	0
	4期生	6	3	2	0	1
私立大学	1期生	38	16	20	2	0
	2期生	52	15	33	3	1
	3期生	43	14	20	5	4
	4期生	51	12	35	1	3
短大・専門学校	1期生	0	0	0	0	0
	2期生	14	3	9	1	1
	3期生	33	15	15	3	0
	4期生	45	17	27	1	0

※平成27年8月末現在

◆ 第5期申請者数（単位:人）

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	96	36	47	6	7
国公立大学	23	8	13	1	1
私立大学	45	12	25	3	5
短大・専門学校	25	13	9	2	1
志望校未定	3	3	0	0	0

※平成27年8月末現在

第1期生 人数

2015年7月末現在、奨学金給付を行っている人数は49名です。第1期生受給者数は96名で、3名が2013年3月に卒業、23名が2014年3月に卒業、6名が2015年3月に卒業、15名が自主退学等の理由により給付辞退し、現在は49名となりました。

第2期生 人数

2015年7月末現在、奨学金給付を行っている人数は82名です。第2期生受給者数は124名で、3名が2014年3月に卒業、22名が2015年3月に卒業、17名が自主退学等の理由により給付辞退または給付中止となり、現在は82名となりました。

第3期生 人数

2015年7月末現在、奨学金給付を行っている人数は95名です。第3期生受給者数は107名で、3名が2015年3月に卒業、11名が自主退学等の理由により給付辞退、追加登録が2名あり、現在は95名となりました。

第4期生 人数

2015年7月末現在、奨学金給付を行っている人数は102名です。

基金発足時から現在までのところ、第1期生から第4期生への述べ給付人数は431名です。

・ 第5期給付者総数見込み

第5期については平成28年3月に84名が卒業予定であり、平成28年4月時点では、第1期生～第5期生合計で約340名の給付人数になる見込みです。

②奨学金給付金額

第5期奨学金給付予定金額

第1期生への年間給付予定金額	4,600千円
第2期生への年間給付予定金額	72,600千円
第3期生への年間給付予定金額	67,800千円
第4期生への年間給付予定金額	109,200千円
第5期生への年間給付予定金額	127,200千円
上記計給付予定金額総計	381,400千円

第5期の給付金額については381,400千円になる見込みです。この約3.8億円の試算をベースに年間の資金繰りを行って参ります。

### ③奨学生の交流促進

- ・年次面談（平成27年10月～12月実施予定）

10月から12月にかけて、盛岡・仙台・東京の3会場において、奨学生全員との面談を実施します。基金スタッフが全ての奨学生と直接触れ合える年に一度の機会であり、学生生活の様子や困りごとなどを聞くことで、奨学生の心のケアにつなげます。

- ・奨学生の集い（平成28年3月実施予定）

基金奨学金の給付を受けて進学する生徒たちを進学前の3月に招き、奨学生の集いを実施します。これは奨学生の門出の祝いと奨学生同士の交流促進を目的としたものです。理事、評議員、寄附者（支援者）、基金在学学生等が一堂に会する唯一の機会でもあり、奨学生には基金に関わる全ての方々との交流を図ることで、運営者・寄附者の思いを理解してもらう会として実施予定です。

- ・交流イベント（平成28年6月および8月実施予定）

仙台・東京にて、交流イベントの開催を予定しています。奨学生たちが気軽に集い情報交換しながら、自身の夢に向かって何らかの「気づき」を得られる場の提供を目的としたものです。6月には日帰りでの交流会、8月（夏休み期間）には、1泊2日形式で宿泊の集いを実施します。奨学生の集いで出会ったみちのく生同士が、その後の交流を深めるためのイベントとして位置づけています。

- ・SNSサイトの運営（通年）

基金独自のソーシャルネットワークサイトの運営を通じて、奨学生同士の交流を促進します。外部からの閲覧を禁止し、辛い体験を共有する者同士の交流を安心して行ってもらうことで、心のケアにつなげてまいります。

以上